

☆来年度予算闘争が始まる☆

～ 建設業の就労環境の改善と来年度予算確保への要請行動！！ ～

『6・26 賃金・単価引き上げ、予算要求中央総決起大会』

～建設国保の育成・強化、現場労働者の賃金大幅引き上げをかちとろう！～

- 社会保障制度の拡充！ ●社会保険への加入促進、処遇の改善！
- 公契約法(条例)の制定！ ●建設アスベスト被害の根絶・被害者補償！
- 建設業への入職促進・技能者育成！
- 住宅リフォーム・耐震助成制度の創設・拡充！
- 消費税をはじめとする大衆増税反対！
- 青年子育て層対策強め組織の拡大強化！
- 建設キャリアアップシステムの登録推進
- 安全衛生対策費・法定福利費の確保



～全建総連は6月25日に東京・日比谷公園の大音楽堂と小音楽堂の2会場で「全建総連6・25賃金・単価引き上げ、予算要求中央総決起大会」を開催。49県連・組合から3,019人の仲間が参加しました。各政党から激励のあいさつを受け、各省交渉、青年部の仲間の決意表明、集会決議の採択を行いデモ行進でアピールしました。～

通常国会の最終日となったこの日は、梅雨の合間の晴天となりました。主催者を代表して挨拶に立った吉田委員長は、各党から駆けつけた来賓の国会議員にお礼を述べるとともに、賃金引き上げと処遇改善が必要であり、建設国保をはじめとする来年度予算の概算要求に必要額を確保することへの理解を求めました。そのため「中央執行委員長として先頭に立って頑張る」と決意を述べ、参加者に集会とデモ、各省交渉を成功させようと呼びかけました。また、各省庁

要請の交渉団を代表し、山口副委員長が決意表明を行い、各県の代表者が交渉に出発しました。引き続き大会では、自民、立憲民主、国民民主、公明、共産、社民の6党の各代表から激励の挨拶があり、全建総連の運動への協力、建設業の発展のためには賃金・単価引き上げと処遇改善が必要なこと、来年度予算編成に向けた支援が表明されました。基調報告で勝野書記長は、働き方改革について労働時間の把握が義務付けられ、建設業の事業所に監督署から指導が入っていること、キャリアアップシステムでは技能者登録が4万7千人と進んでおり技能評価の準備が進んでいること、「担い手3法」の改正では、著しく短い工期の契約を禁止するなど週休二日の推進をうたっていることを指摘し、これらは建設業の最も大きな課題である「担い手確保」を意識していると述べました。

「しかし、大手ゼネコンは史上空前の利益を得、住宅企業は内部留保を大幅に増やしているが、連続して引き上げられた設計労務単価はこうしたために上げられたのではない、賃金引き上げの運動にさらに力を入れていきたい」と述べました。来年度予算については「骨太の方針」が閣議決定され、社会保障の国民負担については先送りとされた一方、年金問題などが明らかになっていることを指摘。「概算要求に向けてハガキ要請、地元議員要請に力を入れていただきたい」と、運動の強化を求めました。決意表明では、全国青協の酒井議長が全国青協幹事13人と登壇し、全国の仲間とともに頑張る決意を述べました。最後に、宮城県連の前野さんが提案した大会決議を拍手で採択。「建設国保の育成を」「賃金・単価をあげろ」を訴えてデモ行進に入りました。

この総決起大会には、奈良建築より菟田野支部・東吉野支部の組合員と事務局が参加し『建設国保を守れ!』『賃金・単価をあげろ!』『ダンピング受注を止めろ!』『公契約法をつくれ!』『リフォーム助成を進めろ!』『建設アスベスト被害者を救済しろ!』『消費税増税反対!』『社会保険料を労働者に保障しろ!』と要求し、デモ旗や組合旗を掲げ、シュプレヒコールで組合員の諸要求を訴えました。

【参加された菟田野支部・東吉野支部の仲間】※順不同・敬称略

中窪 忠幸(菟田野)、上野 誠(菟田野)、松田 充太(東吉野)、松田 利宏(東吉野)

【中央総決起大会・来賓一覧】※順不同・敬称略

(議員本人12人、代理16人、計28議員)

□は政党代表挨拶を頂いた方

【自由民主党】 □衛藤晟一参院議員、あべ俊子、塩崎恭久、田中良生、棚橋泰文 各衆院議員、(以下代理)石破茂、金田勝年、岸信夫、左藤章、富樫博之、中谷真一 各衆院議員、舞立昇治 参院議員

【立憲民主党】 □斎藤嘉隆 参院議員、初鹿明博 衆院議員、(以下代理)池田真紀、佐々木隆博、本多平直、辻元清美、横光克彦 各衆院議員

【国民民主党】 □増子輝彦 参院議員、森田俊和 衆院議員、(以下代理)小宮山泰子 衆院議員

【公明党】 □三浦信祐 参院議員

【日本共産党】 □吉良よし子 参院議員、(以下代理) 畑野君枝 衆院議員

【社会民主党】 □福島みずほ 参院議員、(以下代理) 吉川はじめ 衆院議員

【無所属】 (代理) 舟山康江 参院議員

【祝電・メッセージをいただいた国会議員の方々】 ※順不同・敬称略

(内閣関係4人、国会議員119人、計123人)

【内閣関係】 根本匠 (厚生労働大臣) 山本順三 (国务大臣「国家公安委員会委員長／国土強靱化担当・内閣府特命担当大臣」) 鈴木憲和 (外務大臣政務官) 石川昭政 (経済産業・内閣府・復興大臣政務官)

【衆・参院議員】 (衆院副議長) 赤松広隆 衆院議員

(自由民主党) 石原宏高、大野敬太郎、神山佐市、河井克行、櫻田義孝、高市早苗、棚橋泰文、田野瀬太道、平沢勝栄、古屋圭司、堀内詔子、松本純、宮川典子、宮下一郎、務台俊介、築和生、山口俊一、山口泰明、鷲尾英一郎 各衆院議員、大野泰正、岡田広、佐藤信秋、渡辺猛之 各参院議員

(立憲民主党) 枝野幸男、荒井聰、池田真紀、石川香織、伊藤俊輔、生方幸夫、逢坂誠二、岡島一正、岡本あき子、小川淳也、海江田万里、金子恵美、神谷裕、近藤昭一、櫻井周、佐々木隆博、末松義規、武内則男、田嶋要、辻元清美、長尾秀樹、西村智奈美、福田昭夫、堀越啓仁、本多平直、松田功、道下大樹、宮川伸、矢上雅義、山川百合子、横光克彦 各衆院議員、石橋通宏、江崎孝、小川敏夫、神本美恵子、川田龍平、斎藤嘉隆、芝博一、長浜博行、那谷屋正義、野田国義、鉢呂吉雄、牧山ひろえ 各参院議員

(国民民主党) 青山大人、浅野哲、稻富修二、大島敦、大西健介、岡本充功、奥野総一郎、小熊慎司、岸本周平、関健一郎、西岡秀子、日吉雄太、平野博文、古川元久、前原誠司、牧義夫、森田俊和 各衆院議員、青木愛、伊藤孝恵、大島九州男、大塚耕平、榛葉賀津也、田名部匡代、羽田雄一郎、藤田幸久、森本真治、矢田わか子、柳田稔 各参院議員

(公明党) 伊藤涉、斉藤鉄夫、中野洋昌 各衆院議員、里見隆治、新妻秀規、矢倉克夫 各参院議員

(日本共産党) 志位和夫、笠井亮、高橋千鶴子、畑野君枝、藤野保史 各衆院議員、岩渕友、小池晃、仁比聡平、山下芳生 各参院議員

(日本維新の会) 室井邦彦 参院議員

(社会民主党) 又市征治 参院議員

(無所属) 玄葉光一郎、階猛、野田佳彦、広田一、柚木道義 各衆院議員、行田邦子、平山佐知子 各参院議員